

平成24年8月16日

当座勘定取引先 御中

日 本 銀 行

「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」の一部改正について

今般、政府により、「第67回国際通貨基金・世界銀行グループ年次総会記念貨幣」として、1,000円銀合金貨幣が発行されることとなったことに伴う所要の手当てのほか、「大口受払ブース入室者の顔写真」における届出者の区分について明確化を図る観点から、「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」の一部を別紙のとおり改正し、平成24年8月27日から実施することとしましたので通知します。

なお、改正後の「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」につきましては、上記実施日に、本ホームページに掲載します。

以 上

「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」中
一部改正

○ 2. (1) ロ. を横線のとおり改める。

2. 現金の受入

(1) 受入単位

ロ. 貨幣

① 略（不変）

② 記念貨^(注)

下表に示す定量を取り纏めた大袋単位とします。ただし、1,000円以上の記念貨については、定量未満であっても、下表の最低受入枚数以上の枚数を取り纏めた大袋単位での受入を行います。

	貨種	素材・量目	定量	最低受入枚数
(イ)	}	略（不変）		
∫				
(フ)				
(リ)	1,000円	銀・20.0g	1,000枚	10枚
(ヌ)		銀・31.1g	500枚	10枚
(ル)		銀合金・31.1g	500枚	10枚
(レ ハ)	500円	}	略（不変）	
(レ ニ)				
(レ ホ)				
(レ ヘ)				
(レ ト)	100円	}	略（不変）	
(レ チ)				

(注) 略（不変）

○ 書式第1号を横線のとおり改める。

(/)

書式第1号

大口受払ブース入室者の顔写真

(取引先名) _____ (日付) _____

(責任者) _____ ㊞

【①取引先の職員(現金受払事務の委託先職員を含む)： 番～ 番】

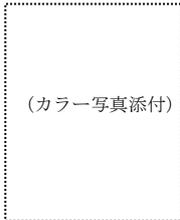
【②取引先から現金受払事務の委託を受けた法人の職員： 番～ 番】

【③現金を搬送する警備輸送会社の職員： 番～ 番】

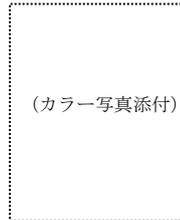
【④現金を搬送する警送会社職員(系統金融機関の職員を含む)： 番～ 番】

登録番号 1 登録番号 2 登録番号 3 登録番号 4

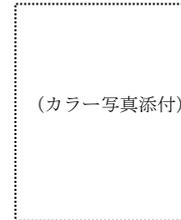
(氏名) _____



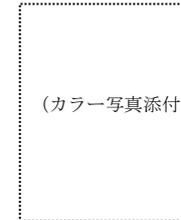
(氏名) _____



(氏名) _____



(氏名) _____



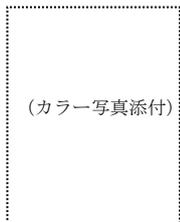
登録番号 5

(氏名) _____



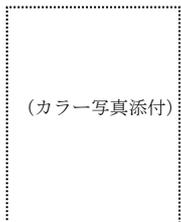
登録番号 6

(氏名) _____



登録番号 7

(氏名) _____



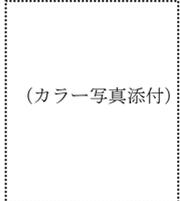
登録番号 8

(氏名) _____



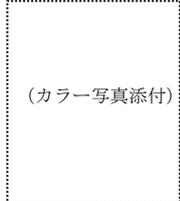
登録番号 9

(氏名) _____



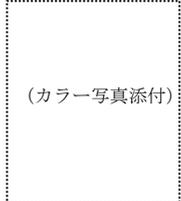
登録番号 10

(氏名) _____



登録番号 11

(氏名) _____



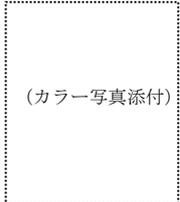
登録番号 12

(氏名) _____



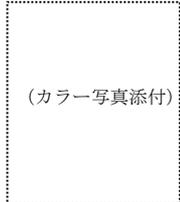
登録番号 13

(氏名) _____



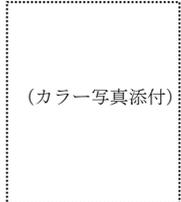
登録番号 14

(氏名) _____



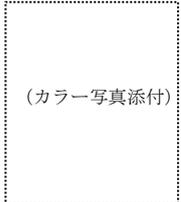
登録番号 15

(氏名) _____



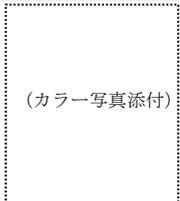
登録番号 16

(氏名) _____



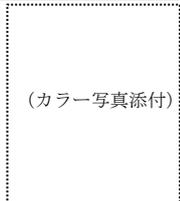
登録番号 17

(氏名) _____



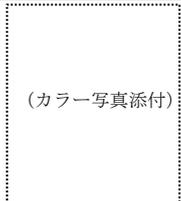
登録番号 18

(氏名) _____



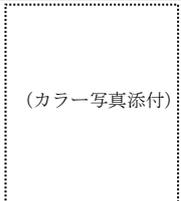
登録番号 19

(氏名) _____



登録番号 20

(氏名) _____



(注1) 略(不変)

(注2) 略(不変)

○ 書式第2号-3を横線のとおり改める。

書式第2号-3

入金内訳（貨幣・記念貨）

受付番号

（日付） . . .

種類		金額		
貨種	素材・量目			
10万円 ∫ 5,000円	} 略（不変）			
1,000円	銀・20.0g			
	銀・31.1g			
	銀合金・31.1g			
500円 ∫ 100円	} 略（不変）			

（ 枚）

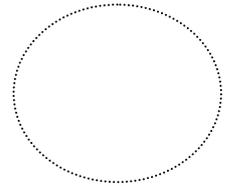
∫

（ 枚）

（ 枚）

（ 枚）

（ 枚）



合計金額		
		千円

（コード番号<5桁>・取引先名）

（顔写真登録番号）授受責任者には○を付す

--

○ 別紙1の2.(3)を横線のとおり改める。

別紙1

現金による当座勘定への入金時の当該現金の整理および施封の方法

2. 貨幣

(3) 表記の表示

(表記の概観図)

A型

略(不変)

・ }
 ・ } 略(不変)
 ・ }

B型

略(不変)

・ 表記の両端には、以下の各号の別に当該各号に定める色を付してください。

略(不変)

・ }
 ・ } 略(不変)

・ 以下の各号の貨幣を収納する大袋の表記には、加えて当該各号に定める事項を適宜の箇所に表示してください。

	通常貨・記念貨の別	貨種	素材・量目	表示する事項	
(イ)	}	略(不変)			
(ロ)					
(ハ)	記念貨	}			
∫					
(リ)					
(ヌ)					
(ル)		1,000円	銀・20.0g	(20.0g)	
(レ)			銀・31.1g	(31.1g)	
(ヲ)			銀合金・31.1g	(銀合金)	
(ヅ)		500円	}		
(カ)					
(キ)					
(ク)					
(ケ)					
(コ)	100円	}			
(ク)					

(注) 略(不変)

-
-
-

} 略（不変）

○ 参考の 2. (2) を横線のとおり改める。

(参考) 現金一覧表

2. 貨幣

(2) 記念貨

額面	素材	量目	貨種	発行年
100,000 円 ∩ 5,000 円	} 略（不変）			
1,000 円	銀	31.1g	} 略（不変）	
		20.0g		
	銀合金	31.1g	第 67 回国際通貨基金・世界銀行 グループ年次総会記念	平成 24 年
500 円 ∩ 100 円	} 略（不変）			

(注) 略（不変）